

第 13 回（2026 年度）澤柳記念 DEI 賞

受 賞 課 題

A 賞：澤柳記念 DEI 賞

課 題 名： 視覚障害者・女子中高生に素粒子探究の門戸を開く活動

受 賞 者： 加速キッチン合同会社

受賞理由： 同グループは、性別・障がいの有無・地域・経済状況・国籍といった属性に依らず、素粒子研究に中高生がアクセスできるように、多層的活動（中高生個人への素粒子検出器の貸与、インクルーシブ素粒子検出器の開発、中高生と研究者等による共同研究の支援、海外も含む加速器施設での中高生の実験、国際ネットワーク）を一体運営しております。これまで限られた大学や研究機関の中で行われ、中高生がアクセスできなかった素粒子研究の領域において、分け隔てなく中高生が本格的な研究に地続きとなる探求を行える環境を整備する取り組みは高く評価できます。中でも、視覚・聴覚障がいのある中高生への素粒子研究の門戸開放の取り組みは、世界的にも独自性が高く特に優れています。また、参加中高生・メンターともに女性比率約 7 割という、この領域において稀有の研究コミュニティを実現し、JpGU2024 での発表や査読付き論文誌への投稿等、本格的な学術的成果も挙げてきております。さらに、参加中高生が進学後に再び次世代のためにメンターとして携わるなど、持続的なシステムが構築できており、これらの功績は顕著なものであることから、澤柳記念 DEI 賞として顕彰致します。

B 賞：澤柳記念 DEI 奨励賞

課 題 名： 編著『日本で女性研究者が増えない理由』の刊行及び東京大学 IncluDE での貢献

受 賞 者： 東京大学多様性包摂共創センター
准教授 中野 円佳 氏

受賞理由： 同氏は、編著書において、日本の高等教育・研究機関に根深く存在するジェンダー不平等の構造的要因や無意識の偏見を実証的に検証・提示し

ました。当事者の声や分析を通じて、なぜ女性研究者の登用が進まないのかという社会的課題をわかりやすく発信し、議論を活性化させました。また、東京大学 IncluDE での活動を通じ、大学組織内における女性研究者の育成・採用・定着に向けた具体的な施策の策定や環境整備を主導するなど、男女共同参画意識の向上に貢献するとともに、次世代の女性研究者をエンパワーメントし、実効性のある多様性推進モデルを提示した点が高く評価されます。今後の活動のより一層の発展を期待し、奨励賞として顕彰致します。